

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
福元 美和子			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。
授業計画	<p>1. イン트로ダクション 課題：次回の予習 — プリントを配布</p> <p>2. ギャップイヤーを振り返ろう ①シートにまとめる。 ②ペアまたはグループで発表する。 ③仲間の報告を聞き取りまとめる。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>3. おもしろい名前を探そう—商品パッケージ1 ①お菓子や食品のパッケージからユニークな名前がついているものを探し、なぜその名前になったか想像してみる 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>4. リサイクルマークを探そう—商品パッケージ2 ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味を話し合う。 ②自国の商品パッケージとの比較、またリサイクルや健康意識と比較しグループで発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>5. 新聞の見出しを読み解こう ①新聞の見出しから、どんなニュースを伝えようとしているのか想像し発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>6. 漫画のストーリーを考えてみよう ①いくつかの漫画のコマを見て、順番を決め、それぞれどのような場面か話し合いストーリーを完成させる。 擬態語・擬音語を考える 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>7. 友達にインタビューしよう1 ①質問文を考える ②インタビューをする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>8. 友達にインタビューしよう2 ①インタビューの内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで発表し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>9. 友達にインタビューしよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>10. 周りの人にインタビューしてみよう1 ①質問文を考える ②インタビューする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>11. 周りの人にインタビューしてみよう2 ①インタビューした内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>12. 周りの人にインタビューしてみよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 振り返る—自分のインタビューについて、また仲間のインタビューの良かった点について話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>13. 一年を振り返ろう ①もっとも印象に残っていることや、失敗したこと、日本の生活で驚いたことなど、仲間と話し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>14. 授業のまとめ1 ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>15. 授業のまとめ2</p>

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習 ー プリントを配布
授業形態	演習
到達目標	①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。
評価方法	授業参加度（積極性）、課題・グループワーク、小テスト、定期試験
評価基準	授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	